





深水の効果を  
引き出すための  
薬も塗っていきますね

一時的に  
強く反応が  
出てしまうことも  
ありますが  
体に害は  
ありませんので



この治療で  
この全快するもの



という  
ところですね  
なるほど……  
だいたい  
状態は分かりました

フリーの遊業士  
何人も治療し  
医師  
慢性的な疲労  
骨力回復の鈍  
感覚の異常

度重なる激戦で  
おかしくなってしまうた  
カラダを直すために  
治療院を訪れたカグヤ



体の状態が  
ギリギリで  
一刻も早く  
治療が必要だった  
カグヤは

とにかくもう  
その男に  
頼るしかなかった



はい

予定通り  
終わりました



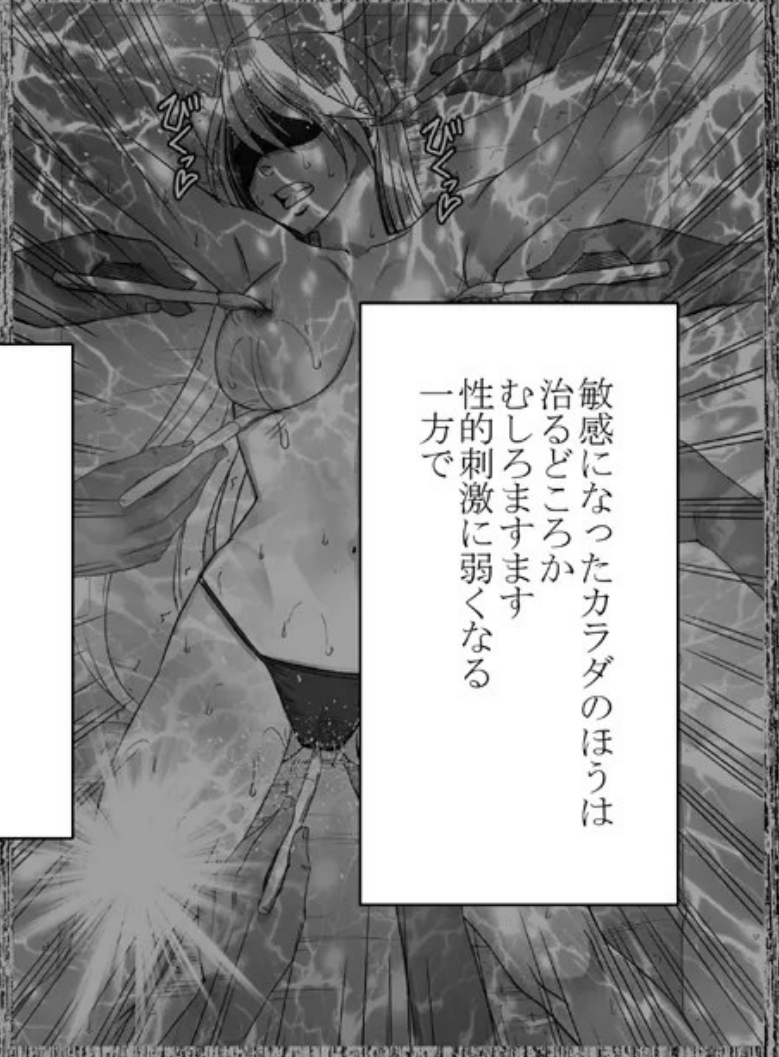
感度も最大限まで  
引き上げてます

激しい性感帯への  
施術の連続で

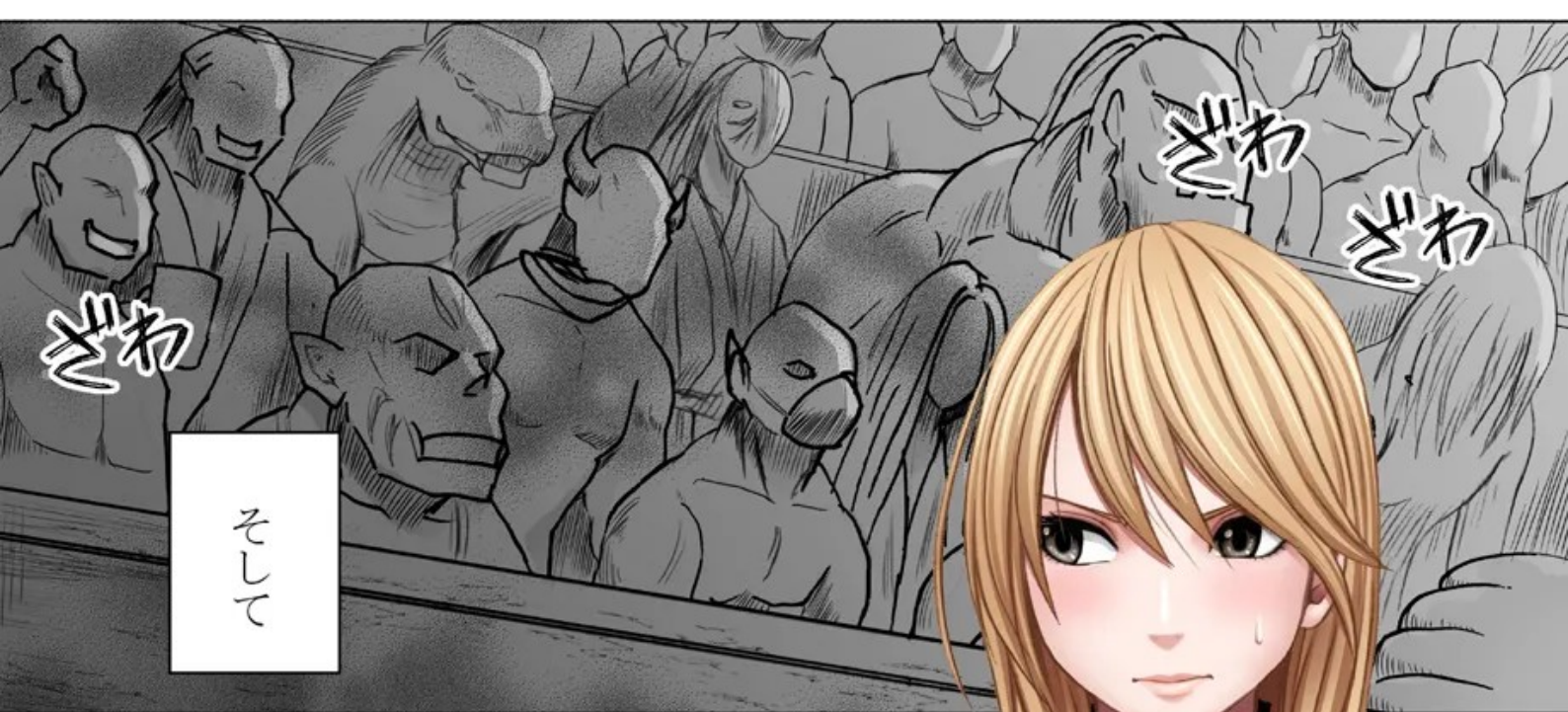
イカされすぎて  
失神してしまう



たので  
よう



敏感になったカラダのほうは  
治るどころか  
むしろますます  
性的刺激に弱くなる  
一方で



ざわ

ざわ

ざわ

そして



目が覚ました  
彼女を待っていたのは





妖魔たちの  
闘技場だった



えっ…  
ここは何なの？

た…助けてくれ！

後ろの牢屋…

誰か…！

あれは何？

人間？

捕らえられてるの？



周りのみんなは…  
観客？

妖魔たち？  
人間も混ざってる？  
どうなってるの？



これは…？  
何かの…  
戦うための舞台？

闘技場？

ククク  
ようこそ  
闇の闘技場へ

今日の挑戦者は  
フリーの中では  
最強と言われている  
退魔士！

あの淫狐ナユタをも  
倒した豪傑！



カグヤ選手だ！

ルールは簡単だ

カグヤ選手が  
これから  
ここで10人の  
妖魔たちに勝てば

牢屋に捕らえられている  
イケニエたちは  
解放される

ただし  
カグヤ選手が自ら  
負けを認めた場合

あのイケニエたちの  
命は保証しない



どうして私をここに?

どうして?

どうしてわざわざこんな舞台に?

助けてくれ!

助けて!

そ…  
そんな!

ぞわ

ぞわ

さあ  
今日の10人の闘士たちの  
登場だ…!



状況は  
よく飲み込めないけど

じつは  
やることは  
変わらない！

あの人たちを  
助けなきゃ……！！

いつものように  
退魔士として

さあカグヤ選手は  
あのイケニエたちを  
救い出すことが  
できるか？

人に仇なす  
妖魔を倒す！

それだけのこと……！！

少なくとも  
霊力は  
回復してる……!!

やる……!!

やるしかない!!





気をつけろ！

うかつに  
近づくな！



おーっと  
カグヤ選手

開始早々  
妖魔一人  
撃破！




頑張れ！


頑張れえ！

あの女の子  
強いぞ！





なぜ  
突然 闘技場に  
連れてこられたのか？




なぜ  
このようなことを  
させられているのか？

つよい…!!

アインが  
やられた!!

状況はまだ  
飲み込めては  
いなかったもの

捕らえられた  
人間たちの  
期待を一身に背負い  
戦うカグヤ




前日まで受けていた  
治療のおかげで  
霊力だけは万全の状態であり

ほぼフルパワーでの  
戦闘

次から次への  
妖魔たちをなぎ倒す

そのたびに  
あがる歓声



オレたちは  
助かるかもしれない!

いけるぞ!

強い!

しかし

そんな期待も  
長くは続かなかつた

戦い初めて  
3時間

あ あ あ

フオフオフオ

まさかここまで  
やるとは  
思わなかつたわい

数が多いすぎる……!

くっ……  
ダメだ……

終わらない!!

あ

あ



結構  
上級のヤツらも  
やられましたよ

これまで来た  
女退魔士の中では

段違いで  
強かったんじゃないか？

それでももう  
さすがに  
限界みたいだな



.....  
!!

そろそろ  
大人しくなって  
もらおうか



ダメだ.....!!

もう  
疲労で体が.....!!

.....  
!!



さて  
そろそろ

みんなのヒロイン様を  
公開処刑する  
時間かな?

あああッ!  
ああああ



双輪拘束法

!!

ハッ



フフフ  
戦いはここから

ここからは  
ショーの始まりだ

やっ……

好き♡  
好き♡

ここからあなたは  
恥ずかしい姿を  
晒し続ける  
ことになる



ここまでの  
戦いは  
お膳立て

あくまで  
ヒロインに  
仕立て上げるための  
お膳だて

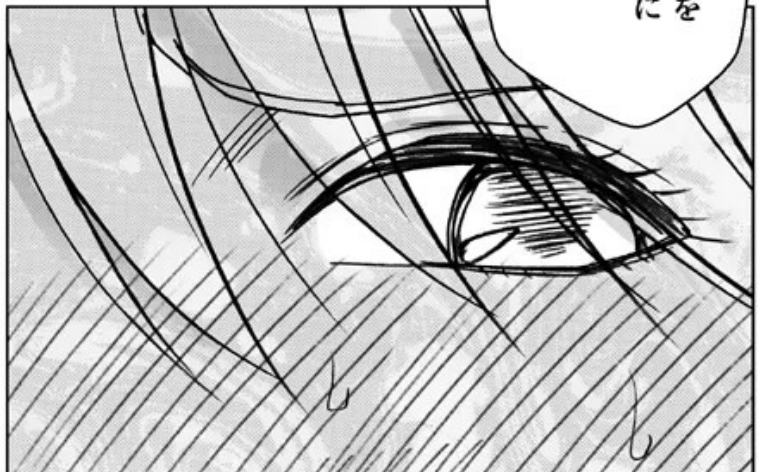
今まで  
自分たちを  
救ってくれると  
思っていた  
正義のヒロインが

なすすべもなく  
犯される

そんな光景を  
目の当たりに  
することで  
にじみ出る  
歪な欲望

あの牢獄は  
それを吸収する  
ための装置

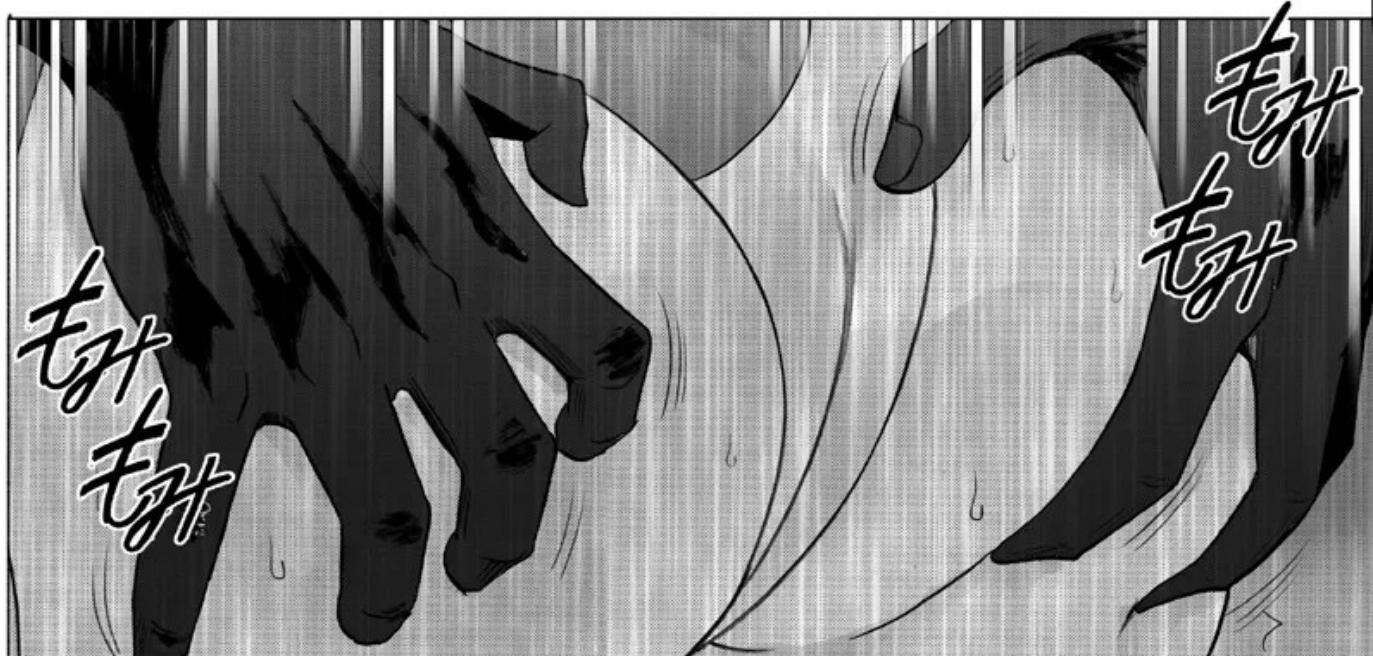
……!!





さあ  
はしたない姿で  
乱れるんだ

乱れて  
あいつらを  
欲情させるんだ





淫水をかけるまでも  
なかったか？

もうすでに  
カラダは  
調教済みか？



おや？

ずいぶんと  
敏感じゃないか？



あついでいしまふ…！



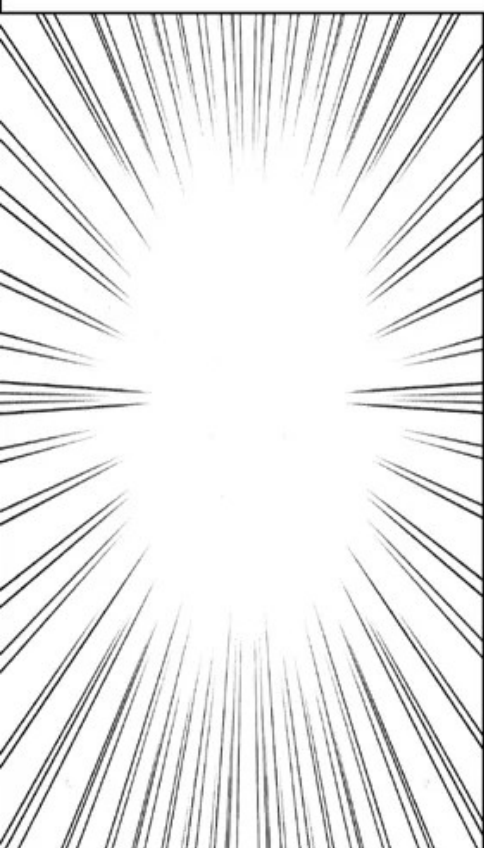
あゝ… あゝ…

アッ  
アッ

アッ

アッ

こんな攻めを  
受けたり…もつ…！







ふふふ  
イケニエたちも  
戸惑い始めたぞ？



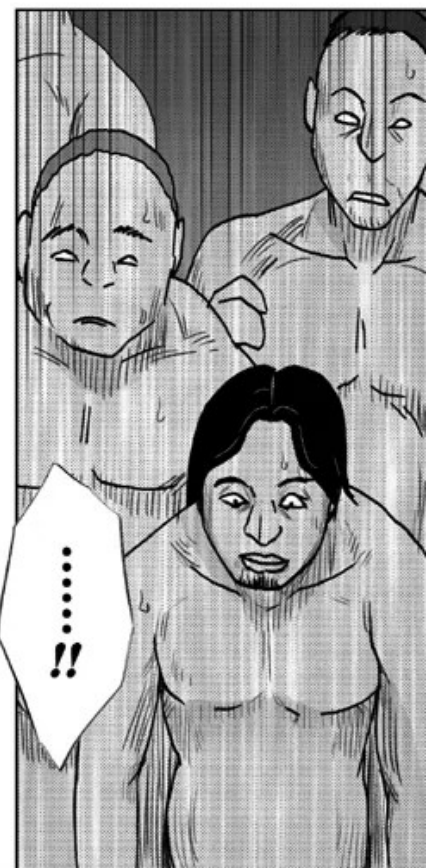
お…おい…  
大丈夫なのか…？



安心しろ  
お前が  
負けを認めない限り

あいつらの命を  
奪ったり  
することはない

負けを  
認めさえ  
しなければいいんだ





我慢なんて出来ない！









こんなカラダの状態  
一度にいろんな場所を  
同時に  
責められたら…!

どうやって  
我慢したらいいのか  
分からない…!

フル♡

ズン

ズン

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

フル♡

ズン

ヤッ!

フル♡

フル♡

ほら  
もっといやらしく  
カラダをくねらせて  
いやらしい声で  
喘ぐんだ

アッ♡

アッ♡

アッ♡  
アッ♡  
アッ♡

ダメだ…!!

みんなが  
見てるのに…!!

アッ♡

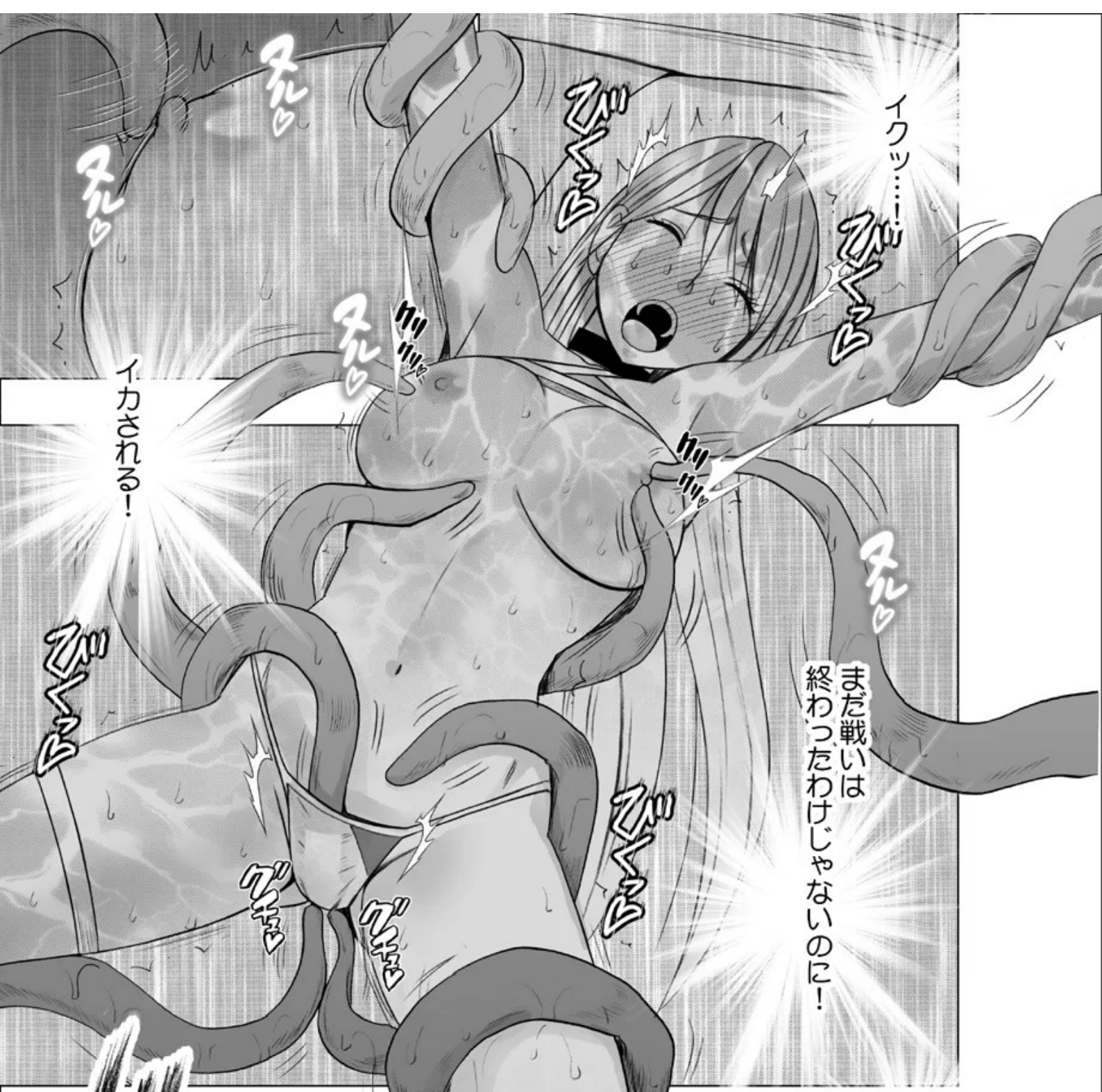
アッ♡  
アッ♡  
アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡





イカされるー!

まだ戦いは  
終わったわけじゃないのだ!



人質も救出  
できてないのだ!

こんなに  
気持ちの  
なせられないなんて……!





すでに  
淫水で何度も  
調教されてるようだが

次はオレだ



マテンタは  
5回か

まずまずだな



オレは  
淫魔始祖の眷属

ヤッ

オレの精液に混じってる  
淫水は妖魔の中でも  
特別だからな

淫水を塗られたところが  
敏感になるだけじゃない

グッ

淫水を浴びた途端に  
イクんだ



あああーダメ！

何なのコレ……！

液体に触れた部分が  
熱くなって！

ほらほら

ダメ……！  
本当に！

次はココに  
直接  
ぶっかけてやるよ

ドキッ

たっぷり出してやるから  
イキまくれよ！

シャアア

ほら

心ゆるッ

ドキッ





次は  
口の中に  
直接注ぎ込んで

カラダの  
内側から  
イカせてやるよ



ダメ…！  
ダメダメ…！



イクッ……!!

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

次は私の番ですね

フッフ

私は  
自在に体の形を  
変えられますからね

フッフ

これからこの体を  
いろいろ  
変形させて

あなたにとって  
最高の

一番気持ちよくなる  
形態を探っていきましょうか

何なの  
この妖魔は……!?

……!!

ズ  
ズズズ

びくびく

びくびく

ほお

ほお

ピキ  
ピキ

ピキ  
ピキ

それぞれの  
性感帯を

もっとも  
気持ちいい  
責め方で

アハハ

アハハ

サッ

アハハ  
アハハ

あハ

アハハ  
アハハ

ど「ま」でも  
絶頂に  
導いてあげましょう

ああ……！  
性感帯……！

アハハ

（あ）

（あ）

探りなして……

アハハ  
アハハ

アハハ  
アハハ

的確に気持ちのいい反応を返ってきて…!

耳はこう？

背中はこちら  
ソフトタッチで…

アナルは  
これくらいなの…

フッフ…  
どんどん  
反応が  
良くなってきて  
いますね





いや...  
もっといいですか？

膣内は...  
こう...？

フフフ いい反応だ  
どうやら  
こいうのが  
一番イイみたいです

ググッ

ハッ

ハッ

ズル

ズル

ズル

ズル

ズル



追い込まれて…!!



イク!



弱い場所を全部

一番キモチイイ  
責め方で



あざむき

アッ

イク……！  
イク……！

7070

7070

クククク

クククク

アッ



スッ

オヌシのカラダの  
性感帯をすべて  
胸に集中させてやろう

自在に操ることが  
できるのじゃ

ワシは  
女体の性感帯を

フフフ...

次は  
ワシじゃな

12回か

フオフオフオ

（お）

（お）

# 性感操法



!!!



驚くほど  
気持ちイイから  
覚悟せい



さあこれで  
オヌシの性感帯は  
胸に集められた

フフフ...

触ると  
どうなるかな?



ほれ



気持ちイイ……!!



信じられないくらい!!

じつじつ!!



あお

あお

あお

あお



ただでさえ  
全身性感帯である  
オヌシが  
その性感帯を  
一点に集中されたら

もうひとたまりも  
あるまい



ダメだ……！こんなもの！

見ないで……！



ほれほれ  
みんな  
見ておるぞ



さっきまで  
あんなに

勇ましいオヌシの  
活躍に  
目を輝かせていた  
あいつらが



ガマンできるわけない…!!

びん

びん

ny  
ny

ny  
ny

そうそう  
これは

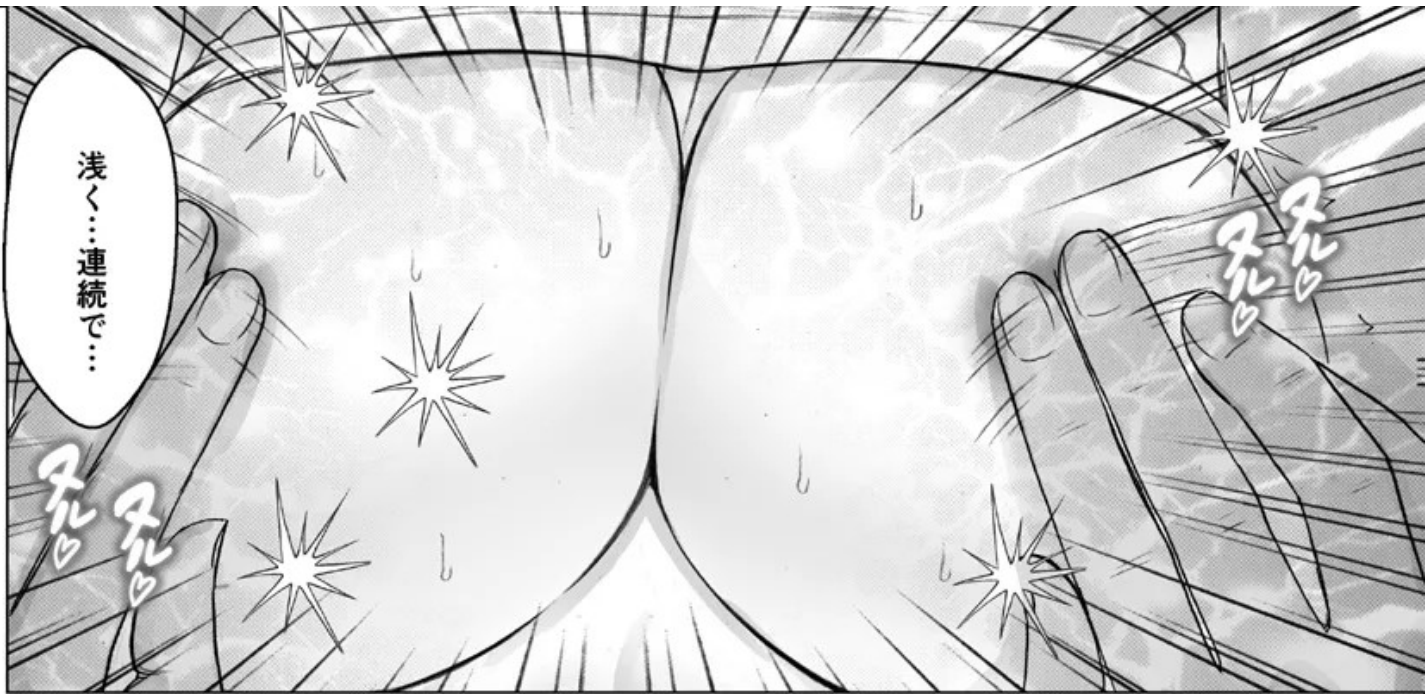
あ あ  
イク回数を  
競う勝負じゃったな

回数だけ  
イカせるのなら

あまり  
深くイカせないほうが  
良いかな？

どれどれ  
連続でイカせてやろう

ほれ  
淫水も追加して  
やろう





アム♡

アム♡

アム♡

アム♡

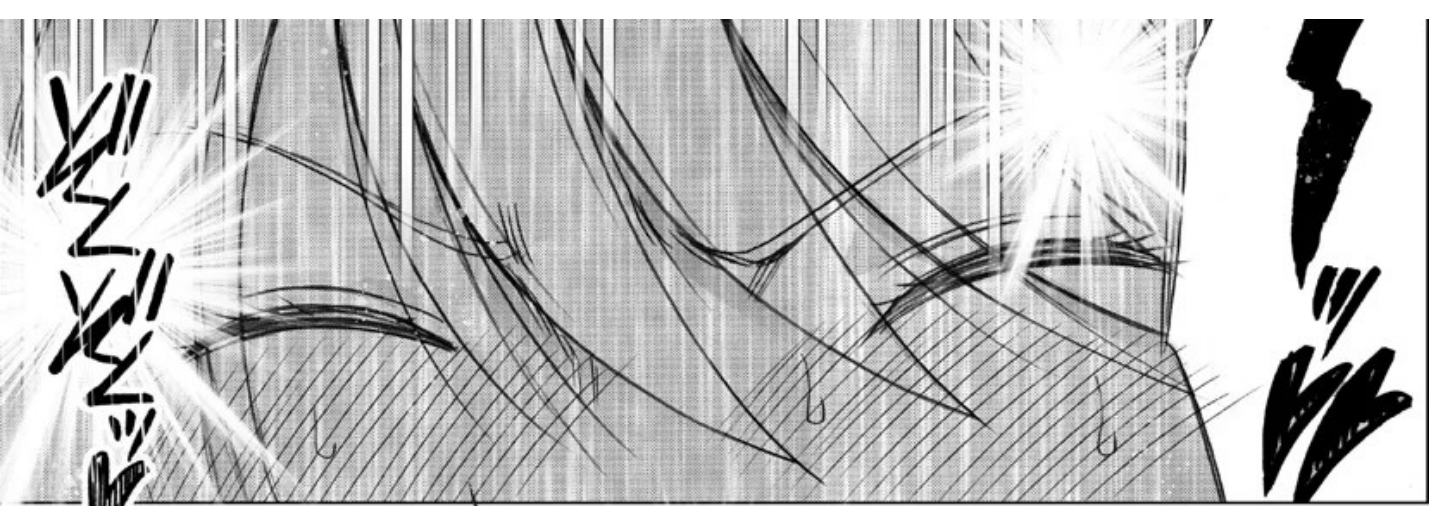






あつ...

あつ



これは  
とんでもなく  
イイモノを持つてる  
女じゃないか

伝わってくるぞ

オヌシの女陰から  
美味な靈力の  
感覚が…！

フオフオフオ



こんな…!!

みんなが  
見てる前で…!!

そうそう  
乳首に性感帯を  
集中させてたん  
だったな

グイッ

アッ  
アッ  
アッ

ハ  
ハ  
ハ

アッ  
アッ

アッ  
アッ





どうかな？  
乳首を煽られながらの  
挿入は…

アッアッ…



すべての性感帯を  
膣内に  
集中させてな



フオフオフオ  
あとでちゃーんと  
女陰でも  
イカせてやろう



ただ  
それをやると  
あまりの快感で  
耐えられないかも  
しれんのでな

最後までに  
しておいてやろう

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

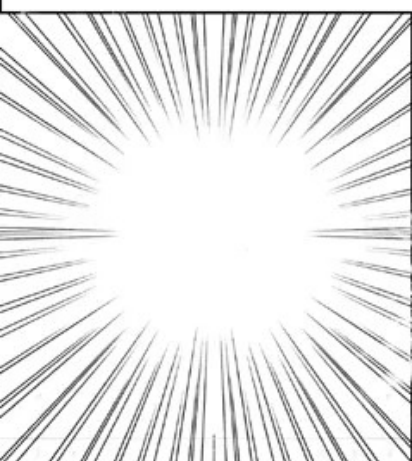


あゝあゝ  
美味そうだな

オレも挿入アリの  
ルールだったら  
イカせ勝負  
絶対勝てるのにな

フフフ  
確かに  
挿入しながら  
イカせたら  
さぞ美味しいの  
でしょうね

まあまあ  
順番を  
待ちましょう



ダメだ……!

く……!

イカされすぎて  
霊力が…もう!!

もう…  
勝てない…!!







みんなの命だけは……!

自分で負けを認めさせ  
しなければ……!



私はこのまま……!

やられ続けるしかないの!?



ズンズンズン



せめて……!

意識だけは  
はつきり保っておかないと!

ズン

通常の戦闘はもう終わり

オヌシが勝つのはもうありえぬ

観客が期待しているのは次の勝負

ここからはオヌシが落ちるかどうかの戦いじゃな  
フオフオフオ

ほら  
そろそろ乳首以外に性感帯を移動させてやろう

まずはすべての性感帯を背中に：

ズリ  
ズリ

そして尻に…





ここから  
すべての性感帯を

まだじゃ  
まだイッては  
ならんぞ？

女陰に……!

ズン  
ズン

ズン  
ズン  
ズン

ズン  
ズン  
ズン

ズン



うそ……!!

こんなにツ!

ダメ!

ズンズン

ズンズン

イクツ!

イクツ!

ズンズンズンズン

ダメダメダメ!

意識が飛ぶツ!



